

堺東校 春期講習 講座紹介



新高1 高1春期講習は無料です。

英語	このたび高校に進学される方を対象に、英語の文を読み書きする上で最も重要となる「句・節」「文型」を扱います。中学英語に比べ、高校英語では必要な単語と文のレベルが一気に上がるため、理解を伴わない丸暗記の学習では全く歯が立たなくなります。何事も初めが肝心です。本講座で入学前に正しい学び方を身につけ、良いスタートを切りましょう。
数学	この春から新しく高校数学を始める方のための入門講座です。本講座では、高校数学の第一歩である数と式の扱いに習熟するだけでなく、代数計算の目的やその背景にある数学理論・思想などを解説していきます。今後の高校数学の展開に大きな期待と展望をもっていただける内容です。

新高2

英語 T 150分	東京大、京都大、大阪大などの最難関国公立大を目指す方を対象に、基礎的な事項を整理しながら、さらにその根幹となる英語独自の発想法・文法理論についても「なぜそのようなのか」を含めた、踏み込んだ指導を行います。また、難易度の高い入試問題の解法のポイントやさらにはその英文の背景にある知識まで、入試で出題される抽象度の高い英文を読破できる下地作りを行います。
英語 H	神戸大、大阪市大、大阪府大、同志社大などの難関大を目指す英語の講座です。単語の意味を並べてなんとなく日本語に直すという読み方では、将来的に大学受験で出題される難解な抽象的な文章は読めるようになりません。英文法の知識に基づいて正しく英文の意味を捉える方法である「構造分析」を、難易度が高い英文を用いて最初から指導します。
英語 S	大阪府大、和歌山大、関関同立大などを志望する方、これから英語を得意にしていきたい方を対象とする講座です。単語の意味を並べてなんとなく日本語に直すという読み方では将来的に大学受験で出題される難解な抽象的な文章は読めるようになりません。英文法の知識に基づいて正しく英文の意味を捉える方法である「構造分析」を、基礎的な英文を用いて最初から指導します。
必修英文法(上級編・標準編)	英文法の理解を深めたい方、復習をしたい方を対象とする講座です。高校1年で学んだ英文法はそのまま大学受験で通用するもので、高校2年からの構文や英作文でもその知識を活用しながら問題を解いていくため、非常に重要な知識になります。本講座では特に入試頻出の重要単元に絞って、四択問題や整序英作文などの基本問題から応用問題まで演習します。
理系数学T・H／文系数学H 150分	難関大を志望する方を対象とする数学の講座です。この春期講習では指数・対数の基礎から解説し、基本事項と基本公式をマスターします。この単元は、単独での出題よりも方程式・不等式との融合や理系では数学Ⅲ微分・積分の中でわき役として出題されます。この講座では入試問題も扱いこの単元を制覇します。
数学 S	数学Ⅱ「指数・対数関数」の基本を4日間でマスターする講座です。指数法則の自然な拡張から対数の考え方と活用の仕方までを丁寧に解説します。本講座は数学をこれから得意にしていきたい方のために、単にこの分野の問題が解けることだけでなく、これから数学を上手く勉強していくためのコツをつかむことを目標とします。
現代文・古文	現代文も古文も入試問題を解くための「正しい読み方、解き方」が存在します。現代文では客観的・論理的に筆者の主張を読み取る方法を、古文では全文訳に頼らない読み方を紹介します。正しい読み方、解き方を一つずつマスターし、国語を武器としていきましょう。すべての高2生の方にお勧めする講座です。※前半2日間が現代文、後半2日間が古文です。
物理 H	京都大、大阪大、神戸大などの難関大を志望する理系の高2生の方を対象に、高2の1年間で理系物理の内容をほぼ1周する講座です。この春期講習では、力学の初めから「等加速度直線運動」までを扱います。入試において等加速度直線運動は姿、形を変えて出題されます。講義では「見た目」が変わっても変わらない「物理の考え方」を指導していきます。物理を得点源にしたいと考えている人はぜひ受講してください。
化学 H	理系科学部志望の方にとって化学は不可避です。そこで、本講座では2年後の現役合格に向けて得点力の向上に主眼を置き、高2の1年間で理系化学の内容をほぼ1周します。得点力を強化するためには論理的な思考法、正確な知識、そしてそれを表現する能力の3つが必要です。これらを高める練習をしていきましょう。春期講習の内容は原子の構造と元素の性質です。

<p>英語 T</p> <p>150分</p>	<p>東京大、京都大、大阪大などの最難関国立大を目指す方を対象に、難易度の高い長文読解問題を解きながら、英文の構造分析法、マクロ的な読解法、その英文の背景にある知識や英語的な発想法までを指導します。難関大で出題される抽象度の高い英文を読破できる実践的な学力を育成します。</p>
<p>英語 H</p>	<p>神戸大、大阪市大、大阪府大、同志社大などの難関大を目指す英語の講座です。入試の長文読解で狙われやすいポイントであるth atやasなどの機能語にスポットを当てた読解を行います。節や句をつなぐ働きがある機能語は働きや意味が複数あり、その用法分析をしなければ適切な訳ができません。論理的に文章を読んで、読解問題で得点を取る技術を難易度が高い文章を用いて指導します。</p>
<p>英語 S</p>	<p>大阪府大、和歌山大、関関同立大、近畿大などを志望する方を対象とする講座です。入試の長文読解で狙われやすいポイントであるthatやasなどの機能語にスポットを当てた読解を行います。節や句をつなぐ働きがある機能語は働きや意味が複数あり、その用法分析をしなければ適切な訳ができません。論理的に文章を読んで、読解問題で得点を取る技術を基本的な文章を用いて指導します。</p>
<p>英文法特講</p>	<p>英文法は単に文法問題を解くためだけに学んでいるのではなく、英文読解、英作文をする上での基礎ともなります。センター試験や私立大で出題される文法問題はもちろん、読解・作文が中心の国立大入試にも活かすことができるよう、主要文法を基礎から指導します。英文法の知識を高めたいすべての高3生の方にお勧めする講座です。</p>
<p>理系数学 T</p> <p>150分</p>	<p>図形と式の対応関係は高校数学の最も主要なテーマであり、入試問題の半分以上を占めると言っても過言ではありません。座標平面や座標空間内での図形処理やベクトルを用いた図形処理など、図形問題を攻略するための方法論を講義・演習します。東京大、京都大、大阪大などの最難関国立大の難問にも対応できる力を養成する講座です。</p>
<p>文系数学 T</p>	<p>この講座では東京大、京都大、大阪大などの最難関国立大を志望する方を対象に、数学IAIIBの内容について、分野ごとではなくテーマ別に、複数の分野でも活用できる数学の定石を解説していきます。1つの解法から様々な問題に対応する力をつけることで真の数学力を身につけていきます。一味違った数学を体験してみてください。</p>
<p>数学 I A II B - H</p>	<p>神戸大、大阪市大、大阪府大、同志社大などの難関大志望で、記述式の数学を必要とする方を対象に、数学Bの「数列」「ベクトル」を演習・解説する講座です。入試標準レベルで最頻出となっている問題の解法を中心に解説し、自習問題を通じてそれらを自在に操れる実戦力を養います。</p>
<p>数学 I A II B - S</p>	<p>これから入試数学の基礎を固めていきたい方を対象にした講座で、数学Bの「数列」「ベクトル」を扱います。単元の公式などを忘れてしまったという方も無理なくついていけるよう、基本事項の確認から始め、最終的に入試基本レベルの典型問題が確実に解けるようになることを目標に講義します。「数列」「ベクトル」が苦手な方はぜひ受講してください。</p>
<p>数学 III - H</p>	<p>本講座は神戸大、大阪市大、大阪府大、同志社大などの難関大を志望する理系の方を対象とする数学IIIの講座です。春期講習では微分・積分を中心とした入試問題演習を標準レベルで講義・解説していきます。本格的な入試問題を解いていくにあたって、現段階で必ずマスターしてほしい事項を整理しながら、それらを問題ごどのように活用していけばよいかを中心に解説していきます。*数学III「微分法」「積分法」の既習が前提です。</p>
<p>数学 III 速習</p>	<p>本講座はこの春期講習からスタートし、1年で大阪市大、大阪府大、関関同立大などの入試問題に対応する力をつけるための、数学IIIの速習講座です。春期講習では複素数平面を扱います。共役複素数、複素数の加減乗除、極形式、ド・モアブルの定理、点の移動などの基本事項をしっかりと理解できるようにします。</p>

<p>現代文</p>	<p>この講座は、入試で現代文が必要なすべての方を対象とする講座です。国公立・私立、文系・理系は問いません。文章に示されている意図を論理的に読み取る方法を指導します。そして、どのように考えれば問題を解くことができるのか、どのように書けば正解になるのかなど、入試に備える上で基本となる現代文の考え方や解法を講義します。※通常期以降は「国公立大現代文」「私立大現代文」の2クラスに分かれます。</p>
<p>国公立大古文</p>	<p>この春期講習からスタートする、国公立大2次試験において古文が必要な方対象の講座です。身につけた語彙や文法をどのように使えば正確に読むことができ、点数につながる解答が書けるようになるのかを講義します。古文を得点源とするべく、「何となく」の読解から脱去しましょう。</p>
<p>センター古文・漢文</p>	<p>この春期講習からスタートする、センター試験の古文・漢文対策の講座です。これまでの模試等で、なんとなく問題文を読み、なんとなく答えを出し、模試ごとに波が激しかったという人は、これからも同じような結果しか得られない可能性があります。この講座では、センター試験独特の読解法や選択肢の選び方を指導します。特に国公立大理系志望の方に強くお勧めします。</p>
<p>物理 T・H</p>	<p>大学入試標準～応用レベルの演習を行い、入試問題に対する実践力をつけていきます。春期講習では、運動方程式や力のモーメントを学習し、物体の運動を数理的に表現する力、また計算結果から現象を読み解く力を磨きます。この講座は物理学を既に学習した人を対象としています。東京大や京都大、大阪大などの最難関大を志望する方はTクラス、神戸大や大阪市大、関関同立大などの難関大を志望する方はHクラスを受講してください。</p>
<p>化学 T・H</p>	<p>高校化学の理論分野の中から「元素の周期律」「原子の構造と電子配置」「化学量」「化学反応式と量的関係」「電子式と共有結合」「分子の形と極性」を扱い、講義並びに問題演習の解説をしていきます。これらは今後の化学の考え方の礎となる重要な部分です。春期講習でしっかりと固めておきましょう。東京大や京都大、大阪大などの最難関大を志望する方はTクラス、神戸大や大阪市大、関関同立大などの難関大を志望する方はHクラスを受講してください。</p>
<p>日本史</p>	<p>大学入試で日本史が必要なすべての方を対象に、「室町時代」について集中的に講義します。武家政権の興亡という通史だけではなく、外交・社会・経済に至るまで多角的な視点で捉えています。入試での出題形式も複雑になってくる時代だからこそ、歴史の流れ(因果関係)を意識して、室町マスターになりましょう。</p>
<p>日本史(文化史特講・古代)</p>	<p>大学入試で日本史が必要なすべての方を対象に、古代文化(古墳、飛鳥、白鳳、天平、弘仁貞観、国風、院政期)を扱います。文化史用語は膨大な数がありますが、それでも文化「史」というからには「流れ」が必ずあります。政治・社会経済・対外関係など通史の流れをしっかりと関連付けることで文化史を「理解」して、武器にしましょう。</p>

VOD